

第3回コミュニティ・スクール準備委員会議事録

1 日 時 令和4年2月17日(木) 15:40～16:00

2 会 場 さいたま市立川通中学校

3 内 容

A 学校長あいさつ

B 第2回コミュニティ・スクール準備委員会議事録より

C 教職員アンケート調査のまとめ

D 熟議 「学校、家庭、地域が一緒にできることは何か」

・「総合的な学習の時間」で地域と連携したカリキュラムを実施する。

・防災教育・避難所設営は、生徒が企画し、運営できる行事になる。

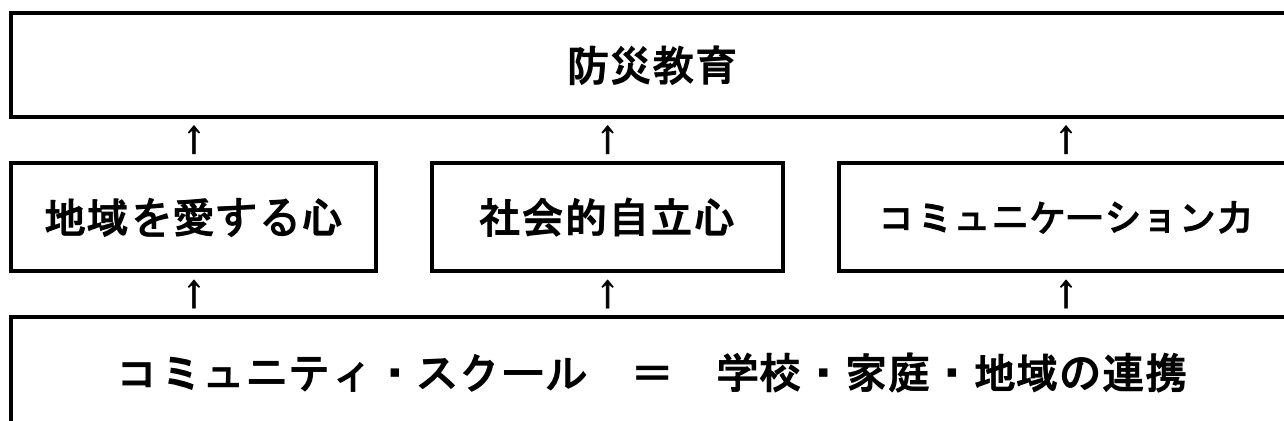
・地域のポスター等を作成し、形に残るものにするよ。

・地域でどのような行事ができるか。

例1) 生徒が地域の祭りで山車を引っ張る。

例2) 消火訓練で、自治会が保管している水が入った消火器を活用する。

・防災ポスターを作成する。



○地域を愛する心（力）

・・・地域を理解し、地域のために役立ちたいと思う心（力）

○社会的自立心

・・・時代の変化に対応できるよう、自ら考え行動する力

○コミュニケーション力

・・・他者とのかかわりの中で協力したり、他人を思いやったりする心

6 次年度の学校運営に関する基本的な方針についての仮承認

1 川通中の現状分析

外部環境の強み	内部環境の強み
<ul style="list-style-type: none"> • 小規模の学校なので、施設を活用できる時間が多い • 自然が多い（川・田んぼ・畑がある） • 歴史的建造物が多い（岩槻区） • 人数が少ない分、発表の場面が多い • 三世帯家庭が多く、生徒が下校すると大人がいることが多い • P T Aが協力的で、よく活動している 	<ul style="list-style-type: none"> • 素直な生徒が多い • 小規模の学校なので、学年を超えてコミュニティが作りやすい • 人数が少ないので、部活や行事で競い合ったりすることがあまりない • あいさつができる • 小規模の学校なので、気心が知れている • ボランティアに参加する生徒が多い • クラス数が少なく、学年を問わず様々な教員が関わることが多い • 落ち着いている • 掃除を一生懸命行う • 何事にも一生懸命取り組む • 生徒会活動に意欲的に参加する • 教員のチーム力が高い • 教育相談体制の連携がとれている • 朝読書の時間を確保している • 小学生への読み聞かせ活動を実施している • クラス数が少ない分、横のつながりが深く、友達が多い
外部環境の弱み	内部環境の弱み
<ul style="list-style-type: none"> • 交通の便が悪い • 小規模の学校なので、体育祭や合唱祭等の行事でたくさんのクラスで競う場がない • 電車に乗る機会が少ないので、都会の方に行くと不安になる生徒がいる 	<ul style="list-style-type: none"> • 通学に時間がかかる • 学校外に出ると不安を感じる生徒が多い • 人間関係が固定されやすい • 基礎的な内容の定着が十分でない生徒がいる • 1人の教員がもつ校務分掌が多い • 行事の競い合いが少なく、盛り上がり少し欠ける

2 川通中の特色づくり

本校の内外環境の強み	具体的教育活動	提供できる教育成果
学年を超えて様々な教員が子ども達に関わることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・学年を超えてあいさつが行われる ・教科指導 ・委員会活動 ・部活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・活発にあいさつができる生徒の育成につなげることができる ・多くの目で子ども1人ひとりを見ることができると、子どもたちのちょっとした変化に気がつきやすい
歴史的建造物が多い	歴史を調べ、実際に見に行く	郷土愛が深まる
人数が少ないので、施設や発表の活用の場面が多い	生徒の主体的な活動を多く設定できる	「生きる力」のある生徒の育成がしやすい
あいさつやボランティアの参加が多い等、素直でやさしい生徒が多い	あいさつ運動や校外ボランティアの実施	奉仕の心、コミュニケーションの充実
小学生への読み聞かせ活動を実施している	昼の放送で流す	本に触れる機会を増やせる
横のつながりが深い	縦割り大縄跳び大会の実施	学年間の縦の絆が深まる

●教職員から出た意見

- ・教職員アンケートの結果、学年を超えた活動を求めている教員が多い
- ・地域との協働作業が大切
- ・防災訓練（避難所設営訓練・起震車体験）は有意義
- ・子ども達が地域の人とともに地域の行事を体験するのは有意義
- ・地域と田植え等の農作業体験はできないか
- ・地域の行事に中学生のアイデアを反映（夏祭り等）
- ・ゴミゼロ運動は、授業日をずらして総合的な学習の時間内で実施
- ・12月バザーの準備を総合的な学習の時間で実施
- ・地域の伝統的な工芸や芸術に触れる・体験する
- ・地域の伝統的な仕事について調べる・体験する
- ・バザー等で古着等を売るだけでなく、昔の遊び（お手玉等）を体験する機会をつくる。指導者には地域の方を招く等すれば連携にはなるかと思えます。
- ・市役所に行き、地域の環境課題について知る。その課題解決の取組を学校で考える。市役所に提案し、学校で活動する。
- ・岩槻の食産物を知り、学校給食を考える。（栄養バランス・調理方法・何品作るかを考える）
- ・岩槻消防署等の方と協力し、防災訓練を行う。実際に避難所づくり等も行う。